外国につながる子どもの貧困と
ふれあい館・青丘社の取り組み

●近年、日本社会の格差の問題、とりわけ子どもの貧困問題への関心が高まりつつあります。また、自治体における子どもの生活状況調査などによる実態把握も徐々に進みつつあります。それでは、外国につながる子どもたちの状況はどうなっているのでしょうか？これまでの自治体調査などの研究から見えてきたこと、さらにはふれあい館・青丘社の地域での取り組みから考えてみたいと思います。

参加費無料
（事前予約制）

[日 時] ▸▸▸ **3月25日（金） 18:30～20:30**

[会 場] ▸▸▸ **川崎市ふれあい館**（川崎市川崎区桜本1-5-6）

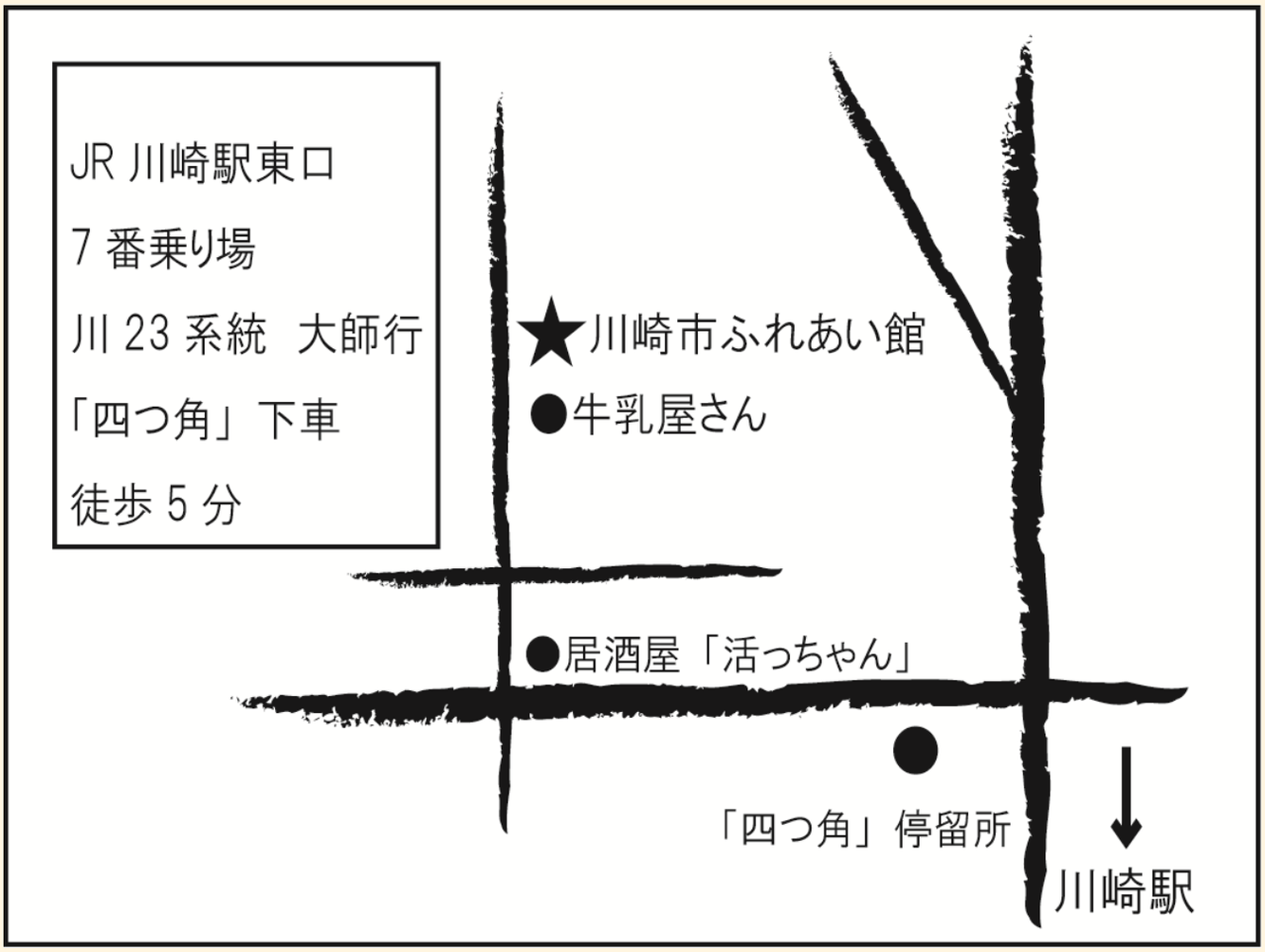
●山本　直子さん（東京都立大学 子ども・若者貧困研究センター 特任研究員）
「調査から見えてくる外国につながる子どもの貧困について」

●黄　浩貞さん・原　千代子さん
「ふれあい館・青丘社の取り組みについて」

主催：川崎市ふれあい館・川崎市教育委員会

お申込みは
お電話かメールで

TEL 044-276-4800　MAIL fureaikan@seikyu-sha.com



●山本　直子さん（東京都立大学 子ども・若者貧困研究センター 特任研究員）

愛知県出身。県内の外国人集住地域で、市役所職員として勤務した経験がある。2010年より多文化共生に関する研究に携わり、外国人集住地におけるフィールド調査を行ってきた。現在は、東京都立大学子ども・若者貧困研究センターの特任研究員として、外国にルーツを持つ子ども・若者の貧困について計量分析を行っている。